

日本抗加齢協会第8回学術フォーラム

開催趣意書

会期：2024年12月13日（金）・14日（土）

開催形式:現地開催

会場：大阪市梅田 梅田スカイビル 36F スペース 36L,R
〒531-6023 大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビル

会長：井上 浩義（慶應義塾大学医学部化学教室 教授）

テーマ：広げよう！学術と実務の交流

事務局：日本抗加齢協会 事務局

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 6-3 日本橋山大ビル 4F

ご挨拶

この度、日本抗加齢協会第8回学術フォーラムを、脳心血管抗加齢研究会第20回学術集会との共催で、2024年12月13日（金）・14日（土）大阪市梅田の梅田スカイビル36Fで現地開催をさせていただくことになりました。

超長寿社会に起因して、抗加齢への関心が世界的に高まっています。近年では、食品や運動だけでなく、既存医療との協調や環境からの影響などの研究も進んできました。これを反映して本協会においても住宅や福祉などの新しい分野・領域からのご参加も増加しております。本学術フォーラムは、8回目を迎えましたが、学術と実務が積極的に交流できる場を提供することを目的としています。

さて、本学術フォーラムでは特別講演として、iPS細胞研究で著名な岡野栄之慶應義塾大学教授をお迎えして、iPS細胞の基礎から臨床応用までを御講演下さいます。岡野栄之先生は株式会社ケイファーマ（東京証券取引所グロース市場）のCSOとしても活躍されておられます。若い研究者・経営者にも参考になるお話がお聞きできると思います。

また、本学術フォーラムといえば、機能性表示食品等の情報を取得する機会としても広く知られております。特に、昨年来問題になっていきます紅麴による健康被害は、機能性表示食品等のあり方にも影響が及んでおることは御周知に通りです。本年9月に機能世表示食品のガイドラインの改定もあり、事業者が健康被害情報を把握した場合は、都道府県知事等へ報告すること等が要件されることや錠剤・カプセル剤等の製造におけるGMP準拠施設での製造義務化など新規情報も含めて消費者庁より本学術フォーラムでお話頂ける予定です。

このたびの紅麴問題で、約2割の機能性表示食品が自主取り下げを行われたようですが、機能性表示食品の目的である「科学的根拠を基礎として、機能性を分かりやすく表示した商品の選択肢を増やし、消費者が正しい情報を得て選択できるようにする」をより強固とするためにも私たちは科学的根拠を研究し、広く知らしめる努力を続けていきたいものです。

ここに記載しました他にも新しい情報や議論がたくさん詰まった学術フォーラムを作り上げていきます。

つきましては、本フォーラムの趣旨にご賛同いただき、格別のご高配を賜わりたくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴社の今後益々のご繁栄を心より祈念いたします。

2024年7月吉日

第8回学術フォーラム

会 長 井上 浩義



(慶應義塾大学医学部化学教室 教授)

大会概要

1. 会の名称 日本抗加齢協会 第8回学術フォーラム
併催：第9回機能性表示食品研究会
同時開催：脳心血管抗加齢研究会第20回学術大会

2. 主催 特定非営利活動法人日本抗加齢協会

3. 会長 井上 浩義（慶應義塾大学医学部化学教室教授）

4. テーマ 広げよう！学術と実務の交流

5. 会期 2024年12月13日（金）・14日（土）

6. 開催形式

現地開催

会場 大阪市梅田 梅田スカイビル 36F スペース 36L, R
〒531-6023 大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビル

7. 参加者

参加予定人数 定員 200名（企業関係者、企業研究者、行政、団体関係者、
医師、医療従事者、研究者）

8. プログラム

【学術プログラム】

特別講演 岡野栄之 慶應義塾大学医学部教授 iPS細胞の基礎から臨床応用まで
シンポジウム

【その他】

共催シンポジウム
企業セミナー
スペシャルゲスト

他

9. 開催実績過去大会

回数	開催年	開催地	大会長（役職は開催時）
第1回	2016年	京都	吉川 敏一(財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター 理事長、京都府立医科大学学長)
第2回	2017年	大阪	森下 竜一(大阪大学大学院 教授)
第3回	2018年	大阪	市橋 正光(アーツ銀座クリニック 院長、神戸大学 名誉教授)
第4回	2019年	東京	太田 博明(国際医療福祉大学 教授、山王メディカルセンター 女性センター長)
第5回	2022年	大阪	山岸 昌一(昭和大学医学部 教授)
第6回	2023年	大阪	山田 秀和(近畿大学アンチエイジングセンター)
第7回	2024年	東京	堀江 重郎(順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学教授)

10.収支予算案

収入の部

(単位：円)

項 目	数 量	単 価	消費税 込金 額	備 考
1. 参加費				
1) 参加登録費				
① 賛助会員 (事前)	150	0	0	1社3名まで無料
② 賛助会員 (当日)	20	5,000	100,000	
③ 非会員 (当日)	20	11,000	220,000	
3) 懇親会				
参加登録	50	5,000	250,000	
小計			570,000	
2. 共催セミナー企画費				
1) ランチョンセミナー	1	1,320,000	1,320,000	
2) 共催セミナー	1	1,100,000	1,100,000	
3) 企業セミナー	1	550,000	550,000	
小計			2,970,000	
3. 主催者費用			986,060	
合計			4,526,060	

支出の部

(単位：円)

項目	数量	内税対象金額	外税対象金額	備考
<事前準備関係費>				
1. 事前準備人件費	1	100,000	0	
2. 庁費				
1) 各種製作物関係費	1	40,000		
3) 参加登録関係費	1	30,000		
4) 通信運搬関係費	1	30,000		
5) 雑費	1	10,000	0	
<当日運営関係費>				
1. 会場費			816,860	
2. 機材関係費	1		706,750	
3. 看板等設営関係費	1		45,000	
4. 招聘・謝金関係費	1	640,000		
5. スペシャルゲスト関係費	1		250,000	
6. 運営要員関係費	1		379,000	
6. 懇親会関係費	1		813,450	
7. 備品/運搬関係費	1		100,000	
8. 運営人件費	13		479,000	
計		850,000	3,591,060	
消費税額等		85,000	-10%	
小計		935,000	3,591,060	
合計		4,526,060		

11.銀行口座

振込先：三井住友銀行：赤坂支店口座番号：普通 8627743

口座名：日本抗加齢協会フリガナ：ニホンコウカレキョウカイ

12.問い合わせ先

日本抗加齢協会 事務局 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町 6-3

日本橋山大ビル 4F TEL 03-5651-7503

e-mail: jaaf(ジェイエーエーエフ)@anti-aging.gr.jp

13. 企業協賛に関するスケジュール

ランチョンセミナー/共催シンポジウム/企業セミナー

申込み締切 2024年8月30日(金)

14. 共催費振込先

銀行名：三井住友銀行 赤坂支店 普通口座

口座番号：8627743

口座名：日本抗加齢協会

(ニホンコウカレイキョウカイ)

振込期日 2024年11月30日まで

15. セミナー・シンポジウム共催募集概要

募集セッション

ランチョンセミナー

共催シンポジウム

企業セミナー

セミナー開催時間（予定）

ランチョンセミナー 50分 / 共催シンポジウム 60分 企業セミナー 10分

募集予定数

区分	12/13（金）	12/14（土）	合計
ランチョンセミナー	1	0	1
共催シンポジウム		2	2
企業セミナー	-	1	1

※予定数、席数はプログラムによって、変更される場合があります。

共催費（消費税込）

ランチョン セミナー	共催 シンポジウム	企業 セミナー
¥1,200,000	¥550,000	¥330,000

共催シンポジウム、セミナー共催費用について

◇共催費に含まれるもの（基本仕様）

①会場借上費（所定時間内の控室使用料を含む）

②講演会場に常備されているPCおよびPC周辺機器（スイッチャー・モニター等）、その他本学の手配原則に基づき講演会場に装備されているもの
例：メインスクリーン、手元灯（座長席・演台・進行席）、レーザーポインター、マイクなど

③講演会場付きのディレクター、PCエンジニア、照明係など

◇共催費に含まれないもの

①参加者用料飲代

*種類、数量については事務局にて決定させていただきます。

②座長・演者への謝礼（宿泊・交通費を含む）

*謝金は共催企業より直接お支払いください。

③配布資料印刷製作費（チラシ等）

④追加人件費など

*アナウンス係、接遇スタッフ、会場前での資料・飲食配布スタッフ、照明係など、本学術集会の手配原則に基づき会場に配置されているスタッフ以外について

は、別途の有料手配となります。

⑤講演会場用追加機材（ビデオプロジェクターやVTR収録など）手配費およびそのためのオペレータ人件費

注意事項・その他ご案内

- 開催形態は、第8回学術フォーラムと貴社との共催となります。
- 本会では、日本製薬工業協会「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」の趣旨に賛同し、ガイドラインに基づく情報公開の実施について承諾いたします。
- 各セミナー開催枠には限りがありますので、最終的な開催日時、会場、セミナー・へのお申込み状況、お申込み順等を考慮して決定します。ご了承ください。
- 共催シンポジウムの内容、座長・演者の選出は、会長とご相談の上ご決定ください。
- セミナー・シンポジウム開催決定後のキャンセルは、共催費の返金含め受け付けません。
- 主催者は自然災害、火災、疫病、戦争、テロ、輸送機関の運行障害、停電、ネットワーク設備の損壊、行政機関の要請・指示・命令・規制など、主催者の責めによらない事由により、開催期間および開催時間、開催場所、開催方式の変更、学的全日程、もしくは、一部を中止する場合があります。この場合、主催者は共催者に対して開催中止となった部分の割合（一部中止の場合）および残りの開催日数を考慮して、主催者が相当と認める額を共催社に返金します。共催者側にてそ

れまでに要した費用等は、各社の負担となりますのでご了承ください。

- 各セミナー・シンポジウムで使用する各機器や資料の管理は申込企業が責任を負うものとし、盗難・紛失・損傷等について、主催者、および、事務局は補償も含めた一切の責任を負いかねます。各社にて保険に加入する等の措置をとってください。
- 共催企業の行為により事故が発生した時は、当該企業の責任において解決するものとし、主催者、および、事務局はこれに対し一切責任を負いません。

プログラム抄録集 (PDF) 掲載用抄録について

- ランチョンセミナー、共催シンポジウム、企業セミナーは、講演抄録を掲載します（座長の言葉や略歴、写真の掲載はできません）。
- 原稿は10月4日までにお願ひします。改めてご連絡いたします。

セミナー申込み方法

- ランチョンセミナー、共催シンポジウム、企業セミナーは、希望されるセミナーを明記してください。
- 1セミナーにつき、返信用紙1枚をご利用ください。複数のセミナーをお申込の場合は、用紙をコピーしてご利用ください。
- 共催シンポジウムは、セミナータイトルと座長、演者情報をご記入ください。ご記入いただきました内容をもとに選定をいたしますので必ずご記入ください。
- 本状に付随の申込用紙に必要事項をご記入の上、事務局までご提出ください。E-mailで受け付けいたします。

お申し込み先 E-mail: jaaf@anti-aging.gr.jp
 第8回学術フォーラム（併催：第9回機能性表示食品研究会）

ランチョンセミナー・共催シンポジウム・企業セミナー申込書

締切日 2024年9月30日

募集要項に記載された事項を順守し、同意の上で下記のセミナーを 申込みます

ご希望のセミナー枠を下記よりお選びいただき、第2希望までご記入ください。

	12/13 (金)	12/14 (土)
ランチョンセミナー	L-1	
共催シンポジウム		SE-1 SE-2
企業セミナー		KS-1

年 月 日

社名	
所在地	〒 住所
	TEL
	E-Mail
代表者名	(役職)
担当者名	(部署)
セミナー内容 ※お決まり の場合、予 定をご記入 ください。	タイトル 座長 演者